

令和4年度 下野市こども発達支援センターこぼと園 事業報告

1. 令和4年度在籍について

1) 在籍児数 103 名 (令和5年3月31日現在)

2) 年齢別在籍児数

年齢別	1歳児	2歳児	3歳児 (年少児)	4歳児 (年中児)	5歳児 (年長児)	合計
幼児数	3名	9名	21名	25名	45名	103名

3) 就園状況

1・2歳児(12名)		3歳児(21名)		4歳児(25名)		5歳児(45名)	
グリム保育園	1	こがねい保育園	1	こがねい保育園	1	こがねい保育園	1
わかば保育園	1	わかば保育園	1	しば保育園	1	しば保育園	1
野ばら幼稚園	2	わかくさ保育園	3	グリム保育園	2	グリム保育園	4
薬師寺幼稚園	2	愛泉幼稚園	4	吉田保育園	1	わかば保育園	1
第二薬師寺幼稚園	1	第二愛泉幼稚園	2	愛泉幼稚園	5	吉田保育園	1
むつみこども園	1	むつみこども園	2	第二愛泉幼稚園	3	みらいこども園	4
ヤクルト託児所	1	石橋幼稚園	1	むつみこども園	1	二宮保育園	1
未就園	3	野ばら幼稚園	2	野ばら幼稚園	6	愛泉幼稚園	1
		薬師寺幼稚園	2	薬師寺幼稚園	4	第二愛泉幼稚園	4
		第二薬師寺幼稚園	2	さつき幼稚園	1	むつみこども園	6
		サニーサイド	1			石橋幼稚園	3
		Yashio 幼稚園				野ばら幼稚園	7
						薬師寺幼稚園	7
						第二薬師寺幼稚園	4

2. 令和4年度療育について

1) 時間

- ・未満児（親子療育） 1時間
- ・年少児 1時間20分
- ・年中、年長児 1時間30分
- ・年長児（個別机上療育） 1時間

机上課題に特化した療育の実践。児の強みと課題に着目した療育の提供を行う。

2) 専門療育、医療相談

○作業療法士による機能訓練 年間36日（1日勤務）

児矢野 直美 先生

- ・児の発達を確認しながら、運動動作の基本的技能の向上のための評価と支援を行う。
- ・感覚の特性（感覚の過敏や鈍麻）を踏まえ、感覚の偏りに対する調整支援を行い、保護者や職員に対し適切な助言及び指導を行う。

○言語聴覚士による機能訓練 年間36日（半日勤務）

滝口 恵 先生

- ・言語やコミュニケーションの基礎的能力向上のため、言語機能の発達を確認し評価を行う。
- ・機能訓練を実施する。保護者や職員に対し適切な助言及び指導を行う。

○公認心理士、臨床心理士による相談や発達検査 月10日

佐藤 友里 先生

- ・発達検査や療育時の行動観察を通して、子どもの得意、不得意などの状態像をアセスメントする。
- ・アセスメント内容を保護者や職員にフィードバックし、児の育ちの共通理解を図り今後の支援に活かす。
- ・保護者からの相談を受け、継続的な支援を行う。

○医師相談 年4日

倉根 超 先生

- ・保護者より子どもの障がい特性や発達の過程について相談を受け、助言及び指導を行う。
（健康の維持、改善を含む）
- ・医療の介入が必要な場合は、医療機関の紹介を行う。

3. 令和4年度 年間行事及び療育実施内容

月	行事名	専門療育実施	他機関連携
4	避難訓練(1) 療育開始(5)	作業療法(12.18.28) 言語療法(14.21.28)	・幼稚園・保育園訪問(随時) ・関係機関見学同行(随時) ・関係機関見学受け入れ(随時)
5	下野市就学説明会(6~20) 避難訓練(23)	作業療法(13.18.23) 言語療法(12.19.)	・学校教育課 ・健康増進課 (5歳児健康相談事前研修)
6	避難訓練(21)	作業療法(8.17.30) 言語療法(2.9.16.20) 医師相談(24)	・健康増進課 (5歳児幼稚園等訪問)
7	避難訓練(20)	作業療法(12.20.29) 言語療法(14.21.28)	・健康増進課 (5歳児幼稚園等訪問)
8	避難訓練(25)	作業療法(3.9.22) 言語療法(4.18.25)	・健康増進課 (5歳児幼稚園等訪問)
9	運営委員会(1) ※書面開催 避難訓練(26~30) (保護者への引き渡し訓練)	作業療法(2.29) 言語療法(1.15.29)	・健康増進課 (5歳児幼稚園等訪問) ・学校教育課 (教育支援委員会) ・学校教育課 (学校見学同伴)
10	避難訓練(21)	作業療法(6.11.12.17) 言語療法(13.20.27) 医師相談(28)	・健康増進課 (5歳児幼稚園等訪問) ・学校教育課 (教育支援委員会)
11	避難訓練(29)	作業療法(1.7.18) 言語療法(10.28)	
12	避難訓練(5・21)	作業療法(1.7.12.23) 言語療法(1.15.19.22) 医師相談(9)	・学校教育課 (教育支援委員会)
1		作業療法(5.13.24) 言語療法(12.19.26)	
2	避難訓練(2・17)	作業療法(3.8.20) 言語療法(2.9.16) 医師相談(24)	
3	卒園式・年長児(22~28) (療育曜日ごとに実施) 療育終了(29)	作業療法(6.14.16) 言語療法(2.9.16)	・学校教育課 (各小学校へ引継ぎ)

()内は日付

4. 令和4年度 相談支援事業所こぼとについて

1) 相談件数

	面接相談		家庭訪問		他機関訪問 (保育園幼稚園等)	
	実	延	実	延	実	延
R1	183	318	7	10	38	68
R2	191	286	5	11	54	60
R3	180	250	3	4	15	20
R4	171	247	4	5	30	45

2) サービス等利用計画作成件数

	障がい児		特定	
	新規	更新	新規	更新
R1	62	120	0	1
R2	72	174	0	1
R3	38	185	0	1
R4	51	196	0	0

※計画相談：「特定」は障がい者の計画＋障がい児の居宅サービス計画

3) 相談内容について

- ・未満児、年少、年中児の保護者からは、家庭での対応や幼稚園等の集団生活の課題についての相談が多い。年長児の保護者からは就学に関する相談が増え、学校サポートセンター等と連携し、就学後も継続的な支援が受けられるよう努めている。
- ・未就園児の保護者からは就園先に関する相談が増えており、児の状態や特性、家族の生活環境等を踏まえて相談に応じている。
- ・小中学生の保護者からは発達特性、登校渋り、集団生活等、多岐にわたる相談内容となり、学校サポートセンターとの連携や心理士面談の機会を設け対応している。
- ・こぼと園と他の療育施設の併用利用や、栃木県立リハビリテーションセンターこども発達支援センターの利用希望など、療育を中心としたサービス調整が増えている。
- ・相談内容は複雑多様化してきており、他課、他職種と連携しながらの対応が必要となっている。
- ・自治医科大学附属病院、獨協医科大学病院への受診が必要な児の支援調整や受診同伴を行うケースが増加している。
- ・こぼと園利用児以外の相談が増加しており、相談支援専門員の体制の検討が必要となっている。